

主催

公益社団法人
フードバンクかながわ

× 公益財団法人
かながわ生き活き市民基金

後援：神奈川県、横浜市、神奈川県農業協同組合中央会、横浜農業協同組合
横浜市社会福祉協議会、泉区社会福祉協議会、瀬谷区社会福祉協議会
協賛：WE21ジャパンいずみ、横浜みなみ生活クラブ(予定)

参加費
無料

(先着100名様)

食 支援の輪を 拡げよう

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ

活動報告

JA横浜
野菜の提供

お福わけの会
シングルマザー支援

横浜市社会
福祉協議会
困窮者食支援

ユーコープ
フードライブ

コミュニティ
しんばし食堂
みんなで食べる

WE21ジャパン
いずみ フードライブ

フードバンク
かながわ



日程 5月25日 (土)

時間 13:30~16:00

場所 JA横浜みなみ
総合センター

講師 大石高久
(公社) フードバンクかながわ

フードバンクかながわ



公益社団法人
フードバンクかながわ

TEL
URL

045-349-5803
<http://www.fb-kanagawa.com>

食支援の輪を広げよう

～「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ



食べられるのに捨てられる 646 万トンの食品

日本の食品ロスは、年 646 万トン発生しています。具体的には、全ての日本人が毎日お茶碗一杯の食品を捨てている量です。この量は、飢餓に苦しむ人々への支援 320 万トンの倍以上になっています。**〈もったいない〉**

豊かに見える日本でも、貧困は特別ではない

日本のひとり親家庭の子どもの貧困率は、先進国が多く加盟する OECD 加盟国でもっとも高いというデータがあります。バブル崩壊後、非正規雇用が拡大し、低賃金のために自活できない状況が増えており、貧困は特別なことではありません。

ひとり親世帯の半数が月 10 万円以下で暮らす

なかでもシングルマザー世帯の半数が相対的貧困世帯は半数を超えていました。相対的貧困は日本の所得の中央値の半分を下回る収入世帯で、今約123万円、月額10万円の収入で暮らす世帯のことで、当てはまる人は15.6%、6~7人に1人ということになります。**<分ち合い>**

フードバンクで食品ロスの削減と分かちあいを

公益社団法人フードバンクかながわは 2018 年に協同組合や労働団体・市民団体の 12 団体により設立され、初年度、企業・生協・市民から 40 トンの食品寄贈を受け、30 トンを食品の必要な団体へ提供しました。

市民からの食品寄付（フードドライブ）は、ユーコープの店舗、WE ショップ、メーデーや地域のまつりなどで実施されました。年間 4 トンが皆様から寄付されました。**<分ち合い>**

寄付された食品はだれのところへ？

寄付された食品は、自立支援施設、地域のフードバンクを通じてひとり親世帯や、行政・社協を通じて困窮世帯に渡されています。子どもたちからのお礼のメッセージが届いています。

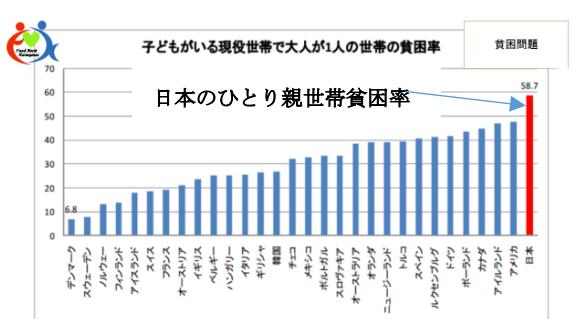
子ども食堂・地域食堂へも届けられ、泉区のJA横浜のハマツ子のみなみ店では、人々を食でつなぐコミュニティ食堂へ野菜や果物が直接提供され、喜ばれています。<ありがとう>

こんな食支援活動に皆さんも参加しませんか。

「もったいないを分かちあい・ありがとう」へ変えるフードドライブを
拡げ、地域食堂・子ども食堂を増やし、食支援で分ちあいの まちづくりに取り組むフォーラムを開催します。

食べられるのに捨てられる食品ロス

約 646 万 t



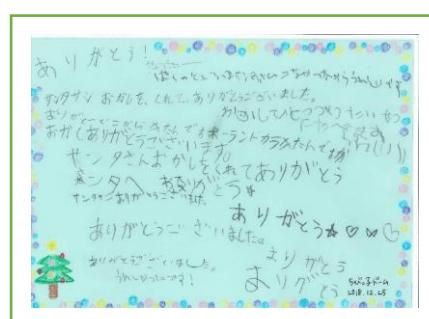
17



子ども食堂



フードドライブ



フードバンクへ子どもたちからのお礼の手紙
ちょうどクリスマスの頃に、お菓子を届けたところ、「ぼくのうちにはサンタさんがこなかつたのでうれしいです。」と書いてくれました。